

臨済宗(東福寺派)

常栄寺 雪舟庭

Jyoei Temple Sesshu Garden

(宮野平野)常栄寺雪舟庭 臨済宗東福寺末、本尊 千手観音。永禄6年(1563)毛利隆元卒しその菩提のため、父元就が芸州吉田に創建し、山口国清寺笠雲恵心を迎えて開山とし、翌7年常栄広利禅寺の勅額を賜う。毛利氏防長移封により慶長年間国清寺(応永11年大内盛見創建、今洞春寺)を合併し、移転して常栄寺と称す。宝永7年(1710)九月焼失したが再建され、また文化14年(1817)再建。明治維新期の文久3年(1863)4月、詔陽祖冥暗殺され常栄寺斬られたりと世人噂するため、毛利隆元の諡号常栄寺殿を避け、毛利家関係の寺院は皆改号を命ぜられ、当寺は潮音寺と改む。また同年9月現地にある興国寺(毛利隆元夫人菩提寺妙寿寺を改号)に移転、一寺内に二寺併存するも明治2年7月興国寺を廃し、潮音寺一寺号となる。明治21年9月常栄寺号に復し、大正15年5月類焼のことあったが、昭和6年10月現寺院再建する。当寺の庭園は妙寿寺以前の妙喜寺時代に、大内政弘が雪舟に命じて築庭させた有名な「雪舟の庭」である。

① 毘沙門堂

びしゃもんてん

毘沙門天はインドでは財宝の神で、室町後期頃から七福神のうちの神として親しく信仰されています。後に仏教を守護する神となった阿修羅とはげしい闘争をしたことから、鎌倉時代には武士、大名の間で国を守る神として信仰されるようになりました。現在では、商売繁盛・選挙・スポーツ・受験・就職等の功德が得られると、盛んに信仰されています。真言は「オン ベイシラ マンダヤ ソワカ」真言を七回唱え祈願をして下さい。

② 薬師如来堂

当薬師如来は山口市仁保の寺院より来られたと伝えられています。しかし大正15年、民家の飛火から類焼の憂き目に遭い薬師如来堂は常栄寺と共に焼失しました。現在の薬師堂は平成九年に再建されたものです。薬師如来に帰依すると病気が治り、寿命が延び災いを除去し、衣服飲食を自由に得られるとされ、「お薬師さん」の愛称で親しまれております。真言は「オン コロコロ センダリ マトウギ ソワカ」真言を七回唱え祈願をして下さい。

③ 弘法大師堂

弘法大師堂

モリアオガエル生息地

毘沙門天まで約15分

③ 弘法大師堂

平安時代、弘法大師空海は唐(中国)渡り密教を治め、我が国に真言宗を伝えられました。弘法大師は讃岐万農池の築造、貧困青年の教育機関の創設経営をはじめ、多くの社会事業を手掛けられました。現実生活の幸福を増進することによって、仏教の道を示されたのです。四国八十八箇所のお遍路参りは歩いて一ヶ月程かかります。日々の生活の中で弘法大師堂にお参りして功德を頂いて下さい。真言は「ナム ダイシ ヘンジョウ コンゴウ」真言を七回唱え祈願をして下さい。

④ 雪舟庭

庭園は本堂の北面にあり、禅味あふれる日本庭園の代表作として、大正15年に国の史跡・名勝に指定されました。庭園は約30アール(約900坪)の広さで東西北の三方が山林、南が開けた土地の中央に池泉を穿つ池泉廻遊式庭園です。庭園には3つの重要な視点が置かれています。それぞれの視点からの三景は趣を異にしており、廻遊することにより、非常に変化に富んだ景観を観賞することが出来ます。

⑤ 本堂

本尊、千手観音菩薩は、もともと山口市水の上町(現・洞春寺)にあった国清寺の本尊で、奈良時代から信仰が盛んとなりました。千手観音菩薩は正しくは千手千眼観自在菩薩ともいわれ、それぞれの手に目があります。衆生の救いを求める声(音)を観て(観音)救済します。それぞれの手の持物は種々の衆生救済の方法を持っていることを示しています。千手観音菩薩は衆生を救済する力の強い観音菩薩です。

⑥ 南溟庭

南溟庭は常栄寺二十世 安田天山老師が古典造園の復元・修復や創作の大家重森三玲に「雪舟より良い庭を作られては困る。恥をかくような下手な庭を作ってもらいたい。」と依頼。重森は固辞しましたが「上手に下手な庭を作ってもらいたい」と重ねて依頼。昭和43年、重森72歳のとき築庭したものです。テーマは雪舟が入明し、帰国するまでに往復した海をイメージしたとされています。石はX字状に配置し有機的な繋がりを持たせた一方、苔による築山は方丈側を高くし、端部は洲浜形にして動きを持たせています。高い本堂から立つて見るため庭を俯瞰するように作られています。

⑦ 地藏堂

地藏菩薩は平安時代から広く信仰されるようになりました。親しく「お地藏様」「お地藏さん」と呼ばれています。地藏菩薩は地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天上の六道それぞれにあつて導かれます。私達には延命・子育て・身代わり・とげぬき等、現世利益をお与えになります。真言は「オン カカカ ビサンマイ ソワカ」真言を七回唱え祈願をして下さい。

お問い合わせ

常栄寺(雪舟庭) <http://www.sesshu.jp/>
山口市宮野下 200-1 Tel 083-922-2272 E-mail info@sesshu.jp